

2017年12月12日

## 日伯交流委員会 2017年度活動報告

### 委員会メンバー

委員長 安田 篤 (Sompo Seguros)

副委員長 石嶋 勇 (ヤクルト)

副委員長 山内 悠輝 (Sompo Seguros)

### 2017年通年活動方針（太字）と2017年活動内容総括（⇒）

- **190**万人と広がりつつあるブラジル日系社会への新たな貢献や連携を通じて、次世代における日伯関係の強化を視野に入れた施策の企画・立案・実行

⇒2018年6月開催予定の日系移民110周年行事企画立案への参画

5団体代表者月次会議等を通じて、会議所会員企業との連携に注力

移民史料館改裝計画等への参画 等

⇒公費留学生JET歓送会、日系子弟教育プロジェクト等への参加

在日日系人問題に関する意見交換会への参加 等

⇒本邦大学の世界展開力強化事業（中南米留学プログラム）等への協力

明治大学との連携・協力に関する覚書締結

東京外国語大学学生の企業研修受け入れ要請対応

東京電気通信大学留学生の会員企業研修受け入れ実施

⇒第20回を迎えたジャパンフェスティバルに対するサポート

- 他地域の日系商工会議所や青年会議所との連携・相互交流機会の強化を通じた共同イベントの開催やビジネス環境の整備改善に向けた提言とり纏め

⇒青年会議所 J C I との連携による共同イベントの開催

Brazilian Mind 初回イベント共催

Luiza Helena(Magazine Luiza 経営審議会会长)講演会共催

RevitaLiba(リベルダージ清掃イベント)共催

⇒ブラジル他地域の日系会議所との連携

12月 14日官民合同会議終了後に他地域会議所代表者と会合予定

- 2017年5月にオープンしたジャパンハウス（以下J H）の設立並びに運営に関わる建設的な提言の発信並びに会議所とのコラボレーションによるJ Hの持続的な運営のための企画・立案・実行

⇒2017年5月開場以来盛況が続くJ Hと会員企業との連携強化

J H運営委員会における提言・進言

-KPI指標のモニタリング

-徐々に自立性を高めるための施策提案

-世界3極のJ Hを念頭に置いたグローバルスポンサー企業の模索 等

以上